聞き手が育てる「言語力」

総合学習センター所長　　鈴木　康仁

私たちが生活する上で言葉はとても重要な役割を果たします。言葉によって気持ちや考えを伝え、喜んだり、悲しんだりします。しかし、最近は同じ言葉でも伝え方によって受け取る側が感情的になり、結果として問題が起きることがあります。人間関係が希薄になってきた時代だからこそ、言語力、対人関係力、コミュニケーション能力などが重要です。

学校では、「言語活動の充実」を図るために、意見を言ったり、説明したりする授業が積極的に行われるようになりました。自分の考えをはっきりと述べることができるのは素晴らしいことであり、人と人がつながる上ではとても大切です。でも、本当に大切にしなくてはならないことは、相手の意見を真剣に聞いたり考えを受け入れたりする態度ではないかと思います。「あなたの意見を知りたい」という雰囲気や風土が教室にあってこそ、話し手は安心して話をすることができ、結果として言語力を高めることになるのではないでしょうか。声が小さいときに、「聞こえませ～ん」などと誰かが言ったら、話し手は余計に緊張してしまうものです。

今年度は立場上、面談や面接をさせていただく機会を何度かいただきました。当然のことながらみなさん緊張されて、自分の考えや意見を述べられました。何度か行っているうちに、こちらの「表情の重要さ」に気づきました。私が笑顔で話しかけ、相手の話しやすい話題を取り上げるようにすると、話し手は明るい表情で話すようになり、時には身振り手振りを交え、尋ねたこと以上の内容まで話してもらえることがありました。面接の途中までは「社交的ではないようだな？」と思っていたところ、最後の話題で全く別の印象を感じることもありました。形式的な受け答えではわからなかったことが、最後の話でその人の内面的な部分を知ることができたような気がしました。やはり聞き手の態度が重要であると感じました。それ以来、聞き手になる時は、できるだけにこやかに、やわらかな雰囲気を創り出そうと考えています。「発信型の言語力」と「受信型の言語力」、どちらも大切にしたいものです。

さがみはらの未来をひらく教育考房（こうぼう）

さがみ風っ子教師塾

ただ今塾生募集中！

さがみ風っ子教師塾は、相模原市の子どもたちの教育を担う人材を募集し、教育に対する理想と情熱を持つ、実践力のある教師を養成しています。これまで一期生と二期生が学んでいますが、これから第三期の塾生を募集します。

＜第三期さがみ風っ子教師塾の募集概要＞

開　　塾　平成２３年１０月～平成２４年６月
募集人数　５０名程度
●昭和４８年４月２日以降生まれの方
●相模原市立小・中学校教員を強く志望する方
●小・中学校教育職員免許状を有する方又は、平成２５年３月までに取得見込みの方

入塾説明会では、教師塾のねらいや具体的なカリキュラム、塾内容について詳しく説明をします。また、現在学んでいる塾生の話も聞くことができます。

＜第三期入塾説明会＞

○１回目　平成２３年３月１８日（金）
午後７時　（７０名）
○２回目　平成２３年３月２６日（土）
午後２時　（２００名）
○会場　相模原市立総合学習センター